

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和4年7月14日(2022.7.14)

【公開番号】特開2022-95855(P2022-95855A)

【公開日】令和4年6月28日(2022.6.28)

【年通号数】公開公報(特許)2022-116

【出願番号】特願2022-64896(P2022-64896)

【国際特許分類】

C 22 C 9/00(2006.01)

10

H 05 K 1/09(2006.01)

C 22 F 1/00(2006.01)

C 22 F 1/08(2006.01)

【F I】

C 22 C 9/00

H 05 K 1/09 A

C 22 F 1/00 6 0 6

C 22 F 1/00 6 2 2

C 22 F 1/00 6 3 0 K

C 22 F 1/00 6 6 1 A

20

C 22 F 1/00 6 8 3

C 22 F 1/00 6 8 5 Z

C 22 F 1/00 6 9 1 B

C 22 F 1/00 6 9 1 C

C 22 F 1/00 6 9 1 Z

C 22 F 1/00 6 9 4 A

C 22 F 1/00 6 9 4 B

C 22 F 1/08 B

【手続補正書】

30

【提出日】令和4年7月6日(2022.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

99.96質量%以上のCuと、添加元素として0.0005～0.0220質量%のPを含有し、残部不可避的不純物からなる圧延銅箔であって、

40

Copper方位の結晶方位密度が10未満であり、Brass方位の結晶方位密度が20未満であるフレキシブルプリント基板用銅箔。

【請求項2】

JIS-H3100(C1100)に規格するタフピッチ銅又はJIS-H3100(C1020)の無酸素銅に、添加元素として0.0005～0.0220質量%のPを含有してなる請求項1に記載のフレキシブルプリント基板用銅箔。

【請求項3】

表面粗さSaが0.2μm未満である請求項1又は2に記載のフレキシブルプリント基板用銅箔。

【請求項4】

50

厚さが $12\text{ }\mu\text{m}$ 以下である請求項1～3のいずれか一項に記載のフレキシブルプリント基板用銅箔。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明のフレキシブルプリント基板用銅箔は、99.96質量%以上のCuと、添加元素として0.0005～0.0220質量%のPを含有し、残部不可避的不純物からなる圧延銅箔であって、Copper方位の結晶方位密度が10未満であり、Brass方位の結晶方位密度が20未満である。10

Copper方位とBrass方位はそれぞれ、 $\{112\} <111>$ 、 $\{110\} <112>$ で定義される。

20

20

30

40

50